

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成26年(2014)10月10日
No. 82
発行 高津啓洋

高麗山フォレストツアー



化を伝えました。
(716年大磯をはじめ、各地に渡来した高句麗人が若光を郡長として武蔵国高麗郡に移され開発を命じられたいきさつがあります。)

【高麗山の植生】：高麗山全域が高来(たかく)神社の所領であり、霊域として禁伐の政策をとってきました。そのために現在でも天然性の林相が維持されています。(現在は県有林となっていま

NPO地球の緑を守る会 湘南支部(奥平)企画の高麗山フォレストツアーが9月15日(月・祝日)、湘南・大磯の近くにある高麗山(こまやま・3つの峰130m~181m)で行いました。

参加者は10名で、メインのフォレストガイドは奥平里美支部長でサブガイドがプロ級の腕を持つカメラマンでもある森本さん。(報告・吉本)

【高麗山の紹介】：奈良時代の668年高句麗国が滅亡して、王族若光(じゃこう)は多くを引き連れ大磯の高麗に渡来して大陸文

午前10時30分高来神社に集合し、自己紹介、里美さん指導のストレッチ体操ののち笑顔とともに高麗山でのフォレストツアーが始まりました。ナギの木、トベラ、



椎の木(低木)などを観察したり、葉っぱをなめたり、においをかいだりしました。タブノキやケヤキの大木に抱きついたり、耳をつけて何か聞こえないかと(耳を)澄ましたり、大きなモチの木にできたこぶを背景に男性たちはそれぞれ力こぶをつくって見せたり、童心に返って楽しみました。

奥平支部長が高木、亜高木、低木、そして下草と組み合わせさせて土地本来の森ができていくことをよく納得できるぐらい実地に説明してくれました。素晴らしいです!天然の素晴らしさに一同感嘆し、天地創造の業を賛美しました。

歩く植物図鑑の奥平昌斗君(農業高校生)が皆の質問に良く答えていて感心しました。途中昼食はさわやかな風が吹き抜ける山の尾根に腰掛け、手弁当を広げておいしく頂きました。

湘南平の展望台からは湘南海岸を一望にすることができ、江の島の向こうから真鶴半島、伊豆半島そして伊豆大島、初島なども眼下に見えました。

湘南1,000年の森プロジェクト(森の防潮堤)構想に思いを馳せました。

(緑の会湘南支

部としてその実現に向け働きかけています。)

山を下る途中浮かび上がる富士山を見ることもできました。

★次回11月のフォレストツアー(真鶴半島)も楽しみにしています。



真鶴
フォレストエコツアー
2014.11/16(日)
申込/切
11/12(水)

漁師たちにより
魚が集まる池として
大切に守られてきた、
ダイオミツクサシイノキの原生林

実りが始まるレダ

南米・レダも10月に入り、様々な種類の果実が実を結びます。下の写真はカシューナッツの実です。また、マンゴーの実や、グレープフルーツが豊かに実ります。

